

まちの将来像 ~こんなまちをめざします!~

竜王町の大きな変化をチャンスとして活かすために、人口を増やすだけでなく、人材や会社などを育成していくことも必要です。また、町民、会社や町役場がいっしょに竜王町を盛り上げていくことができれば、まちの「煌き=魅力、活力」は、何倍、何十倍にもふくらみます。

美しい田園風景や歴史・文化に、竜王町を訪れる人が増えることであらたな元気が加わった「交竜の郷」を舞台として、「ひと」が育ち、まち全体が「みんな」で「煌く」ことをめざし、まちの将来像を「ひと」育ち みんなで煌く 交竜の郷」とします。

ひと： 竜王町で暮らす人、活動する人、訪れる人、地域、会社、団体など

育ち： 子どもから大人まで学びや体験などの活動により、能力を高めるとともに、人材育成を図る。また、会社や団体の成長

みんな： “ひと”がそれぞれ対等な立場で、目的の達成に向けて協力していく=協働

煌く： 人口増や“ひと”の活躍、産業活性化など、将来に夢をもつことができる元気や魅力の高まり

交竜： 広域交流・観光交流の活性化などの町外との交流、住民同士や会社との地域内交流。「交流=交竜」としているのは、竜が天にのぼっていくようにまちの発展をめざすイメージ

郷： 町民生活の舞台となる「緑と文化」が輝くわたしたちのふるさと

将来目標人口

竜王町の人口は、10年後には1,000人くらい減り、子どもや若い人が少なく、おとしよりの多いまちになると予想されます。青年団活動や、まつり、運動会など、地域の行事も続けていくことがむずかしくなるかもしれません。

しかし、竜王町では、工場など働く場が多いことや、タウンセンターエリア(町役場、公民館、スーパーマーケット)やアウトレットモールのオープンで生活が便利になったり、訪れる人が増えていることから、住む人を増やすチャンスがあります。チャンスを活かし、若い人に住み続けてもらったり、あらたに住んでもらうことで、10年後の人口を14,000人にすることをめざします。



目標人口の到達ステップ

ステップ1(1,000人)

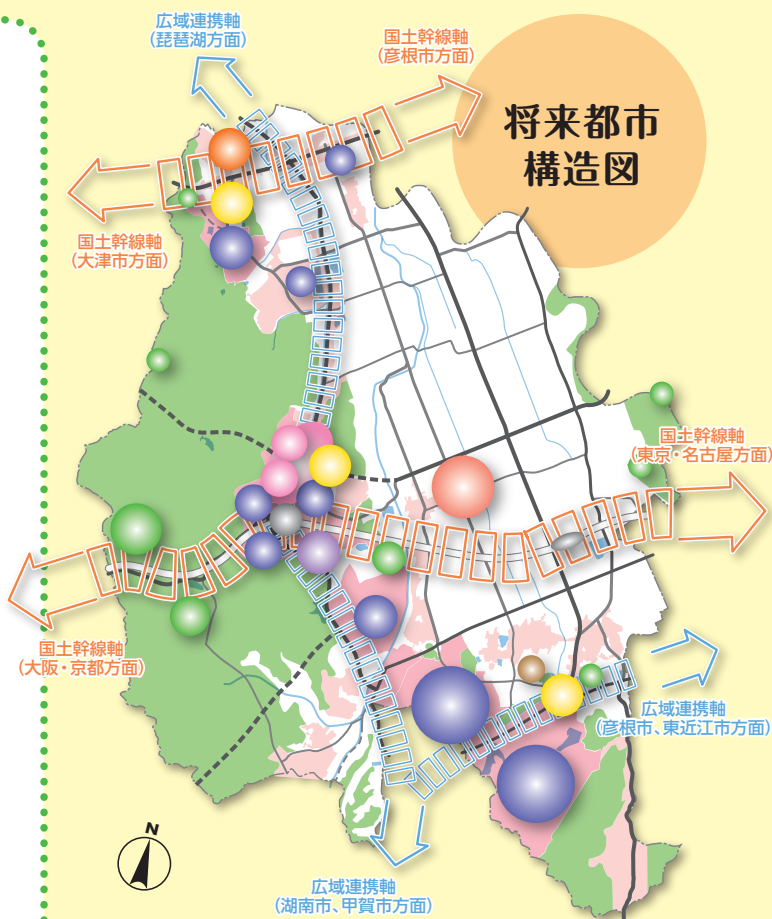
未活用資源の活用

- 既存住宅団地の空き区画への誘導
- 新規住宅団地(鏡北部地域)の活用
- 空き家対策

ステップ2(700人)

新たな受け皿づくり

- 市街化区域周辺の活用
- 集落周辺における地区計画の活用



凡 例		
市街地地域	● タウンセンター	● 広域商業拠点
準市街地地域	● 新規住宅団地(鏡北部地域)	● 産業拠点
田園地域	● 新規住宅地域	● 農業観光拠点
森林地域	● 観光・レクリエーション拠点	● 運輸流通拠点
		● 交通結節拠点

※ --- は、広域ネットワーク構想路線